

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 12 月 17 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約2.5 m ³ /h	23.8 °C	107.7 kPa abs	A系: 0.15 vol%
		給水系:約2.5 m ³ /h			B系: 0.11 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約4.1 m ³ /h	35.0 °C	6.02 kPa g	A系: 0.10 vol%
		給水系:約1.9 m ³ /h			B系: 0.10 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約4.0 m ³ /h	35.9 °C	0.26 kPa g	A系: 0.20 vol%
		給水系:約1.9 m ³ /h			B系: 0.19 vol%

*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	14.8 °C
3号機	循環冷却システム	停止中	11.0 °C*
4号機	循環冷却システム	運転中	26 °C

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

※3号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(12/12 11:00時点の値)を記載。

【3号機】

- ・12/12 14:02 使用済燃料プール代替冷却系において、弁追設および逆止弁点検を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止。なお、12/18 まで冷却停止予定。冷却停止時のプール水温度は約 11.0°C で、停止中のプール水温度上昇率については約 0.16°C/h と評価しており、停止中のプール水温上昇は約 24°C であることから、運転上の制限値 65°C に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	12/11 19:42 ~ 12/16 13:35 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	12/7 17:00 ~ 12/16 13:43 移送実施
6号機	6号機 タービン建屋	→ 仮設タンク	12/17 10:00 ~ 15:00 移送実施

・港湾内の物揚場に保留しているメガフロートについて、今後、港湾内での工事や資機材搬入のために輸送船等を着岸させる必要があることから、港湾内北側に移設する予定。移設にあたり、メガフロートには、5・6号機タービン建屋の溜まり水を貯留しており、低濃度の放射性物質が含まれていることから、海への放射性物質漏えいリスク低減のため 11/22 10:10 より 11:59 まで、メガフロートから5・6号機周辺仮設タンク等への溜まり水の移送を開始。12/16 16:55 に移送作業を終了。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (12/17 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上